

## 公立大学法人秋田県立大学教員募集要項

1. 職名及び人員 教授または准教授 1名
2. 所属 生物資源科学部 生物環境科学科 地域計画グループ (秋田キャンパス)
3. 専門分野 環境経済学分野  
本公募では、環境経済学分野への造詣が深く、農山村等地域の持続的発展に資する循環経済に関する研究を推進できる人材、さらに地域社会の活性化に関心を持つ学生の教育に熱意があり、学内外の研究者や行政、地域社会との協働により、研究成果の社会への還元に意欲を持つ人材を求めます。
4. 担当授業科目 (学 部) 環境経済学、地域計画学(分担)、生物環境科学実習(分担)、生物環境科学実験 II(分担)、生物環境科学科研究室実験(分担)、卒業論文等  
(大学院) 地域資源循環活用論(分担)、地域環境科学特論(分担)、課題研究等
5. 応募資格 (1)博士の学位を有すること、または採用日までに取得見込みであること。  
(2)当該分野の教育と研究に熱意を持っていること、地域貢献にも意欲を持っていること。  
(3)国籍は問わないが、日本語が堪能であること。  
(4)採用が決定した場合、確実に着任できること。
6. 採用予定日 2025年10月1日
7. 勤務条件等 (1)身分 公立大学法人職員  
(2)給与 職位・業績・職務内容に応じた年俸制(本学給与規程による。)  
(3)勤務 裁量労働制  
(4)任期 5年の任期制(再任回数に制限なし。勤務成績、業務遂行の目標及び計画等により判断する。)  
(5)定年 67歳
8. 応募書類 (1)履歴書(本学所定の様式1による。\*)  
(2)研究業績書(本学所定の様式2による。\*) 学術論文は、①学術誌論文(査読付き)、②国際会議、発表論文(査読付き)、③その他に分類して記載してください。また、主要なもの5編に○をつけてください。  
(3)主要論文 5編(コピー可)  
(4)これまでの研究、教育及び社会活動(地域貢献を含む。)の概要(1000字程度)  
(5)教育に対する抱負(1000字程度)  
(6)研究・地域貢献に対する抱負(1000字程度)  
(7)応募者について意見を求めることができる推薦者2名の氏名と連絡先  
(8)研費等外部資金獲得の実績がある場合は、過去5年間における獲得状況の一覧  
注) \* 印:履歴書(様式1)及び研究業績書(様式2)については、ホームページ(<https://www.akita-pu.ac.jp/about/saiyo/>)をご参照ください。
9. 応募締め切り 2025年5月16日(金)必着
10. 選考方法 (1)第一次選考 提出書類審査、学部選考委員会による面接  
(2)第二次選考 プレゼンテーション、学長・副学長による面接  
※第一次選考及び第二次選考の面接はオンラインで実施する場合があります。  
※第一次選考の学部選考委員会による面接時に授業担当能力を評価します。  
※対面にて面接を実施する場合の旅費等は自己負担となります。
11. 応募書類の提出先及び問い合わせ先  
〒010-0195 秋田県秋田市下新城野字街道端西241-438  
秋田県立大学生物資源科学部 生物環境科学科 宮田 直幸  
TEL: 018-872-1660(ダイヤルイン)、E-mail: rmiyata@akita-pu.ac.jp  
※封筒の表に「地域計画学分野教授または准教授応募書類在中」と朱書きし、簡易書留で送付してください。  
応募書類は返却しません。
12. その他 本学は、女性の職業活動における活躍の推進に関する法律に基づき、女性活躍のための支援、環境整備に努めており、女性研究者の積極的な応募を歓迎します。

## 今回の公募で求める人材像

生物環境科学科・地域計画学分野では、社会科学的なアプローチにより、農山村など地域社会の持続的発展に寄与するための教育・研究・地域貢献に取り組んでいます。自然資本や地域資源を適正に管理、循環利用する経済社会を構築し、脱炭素や人口減少に適応した持続的な地域社会の形成をめざして、今回の公募では、地域の循環経済の達成に寄与するための研究・教育・地域貢献活動を推進し、強いリーダーシップを発揮しながら、本学科のみならず学内や学外機関の様々な分野の研究者、行政、地域社会と協働することができる人材を求めます。

### 【教育】

本学科のディプロマポリシーを踏まえ、フィールドに密着しながら地域の課題への実践的な取り組みをとおして、資源の適正な管理や循環利用など、地域の循環経済に関する講義や実習を担当でき、地域社会の発展への貢献を志す学生の教育に熱意ある人材を求めます。

### 【研究】

地域資源や再生可能エネルギーの利活用、脱炭素を加速するための制度設計、グローバル経済と共存するローカル・サプライチェーン構築など、地域社会の発展に不可欠な循環経済に関する研究経歴を有し、地域政策・環境政策の形成に寄与しながら、持続的な経済社会をめざす研究を指導的立場で推進できる人材を求めます。

### 【地域貢献】

学内外の研究機関や行政、地域社会等と積極的に協働し、環境経済学の見地から地域政策・環境政策の形成を推し進めることにより、地域社会の持続的発展に貢献できる人材を求めます。

本学は、女性の職業生活における活躍の推進に関する法律に基づき、女性活躍のための支援、環境整備に努めており、女性研究者の積極的な応募を歓迎します。

## 生物環境科学科 大講座制グループ構成

基本方針：人間をとりまく環境を自然科学と社会科学の両面から探求し、深刻化する環境問題を解決することにより、持続可能な社会の構築に貢献することを目指す。

### 生物環境科学科

#### 陸域生物圏グループ

- ・大気・水圏環境学分野 環境負荷物質の影響解明と持続可能な大気・水圏環境の管理・評価  
環境負荷物質、物質循環、実態把握、影響評価、高感度手法開発・評価
- ・土壌環境学分野 土壌の科学的要因解明と、持続的な環境保全的農業技術体系の構築  
土壌管理、作物生産、土壌微生物、物質循環、環境負荷低減
- ・森林科学分野 森林に関する基本的生態の多面的解析と、森林と人のふれあいの探究  
多様性、長期動態、生活史、森林管理、人と自然との関係性

#### 環境管理修復グループ

- ・自然生態管理学分野 流域生態系の自然循環機能の評価とその保全・修復技術開発  
複合汚染土壌、有用生物資源、生物地球化学循環、流域管理手法
- ・生態工学分野 生態系の物質循環機能や水質浄化機能の解析と環境技術開発  
富栄養湖沼の水質改善、水界生態系機能、難処理廃水の水質浄化、有用金属再資源化

#### 地域計画学グループ

- ・地域計画学分野 地域資源活用と産業育成と地域経済循環システムの構築  
持続可能な社会、地域経済循環システム、地域資源、農業経営と農業法人
- ・環境社会学分野 大量生産大量消費社会から持続可能な社会への転換  
農・食・環境、地域の問題解決、八郎湖の再生、有機農業の地域的展開

#### 基礎生命科学グループ

- ・基礎生命科学分野 データ分析の新しい方法論構築  
リポタンパク質、トランスクリプトーム解析、インフルエンザウイルス分類